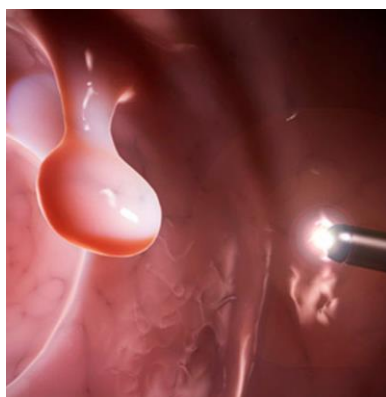


# 大腸癌内視鏡検診について

大腸癌検診における大腸内視鏡とS状結腸鏡の有用性の差異について、Dana-Farber Cancer Institute の Nishihara らは、88902名の22年追跡し、「New England Journal of Medicine」誌に報告しました。



大腸内視鏡とS状結腸鏡はともに直腸からS状結腸までの遠位大腸癌発生率の低下と関連していました。大腸内視鏡は近位大腸癌発生率の若干の低下とも関連していました。スクリーニング大腸内視鏡・S状結腸鏡は大腸癌死亡率の低下と関連していました。

